

中学歴史プリント（書き取り）

大正時代

名前

得点

/20

- 問1 ワシントン会議で四力国条約が結ばれたことに伴い、日本とイギリスの間で廃止された同盟を何という？
- 問2 第一次世界大戦後に、平和原則として提案された14項目からなる構想を何という？
- 問3 米騒動が全国的に広がった結果、辞職に追い込まれた当時の内閣を何という？
- 問4 大正時代に普及が始まり、都市の住民が情報や娯楽を得る手段として一般的になった通信機器は何？
- 問5 大正時代、桂太郎内閣を総辞職に追い込み、憲法に基づく政治のあり方を求めたこの運動を何という？
- 問6 国際連盟の提唱国でありながら、国内の何による反対のため加盟できなかったアメリカの機関はどこ？
- 問7 大正時代に、一定の納税額という条件をなくし、すべての成人男性に参政権を与えることを求める運動を何という？
- 問8 大正時代に1冊1円という低価格で出版され、知識や文学が広く大衆に広まるきっかけとなった出版物を何という？
- 問9 1918年に全国で発生し、原敬内閣誕生のきっかけとなった出来事を何という？
- 問10 大正時代から昭和初期にかけて、国民が人間らしく生きる権利を保障するために掲げられた権利を何という？
- 問11 「女性は太陽であった」という言葉を掲げ、大正時代の女性解放運動の中心となった人物は誰？
- 問12 大正末期から昭和初期にかけて、立憲民政党とともに二大政党制を形作り、交代で政権を担当した政党は何？
- 問13 シベリア出兵の影響などにより米価が急騰し、全国規模で発生した暴動を何という？
- 問14 第一次世界大戦の講和会議として開かれ、ドイツの賠償金や国際連盟の設立を決定した1919年の条約を何という？
- 問15 日英同盟の解消と同時に太平洋地域の安全保障を目的に結ばれた条約を何という？
- 問16 1912年に起こった第一次護憲運動において、民衆が掲げた政治改革の目標は何というスローガン？
- 問17 雑誌『青鞥』を創刊し、日本での女性解放運動の先駆けとなった人物は誰？
- 問18 1932年に犬養毅首相が殺害され、政党内閣の時代が終わりを迎えるきっかけとなった事件を何という？
- 問19 第一次世界大戦のさなか、戦争による食料不足や困窮を背景にロシアで革命が起こったのは何年？
- 問20 第一次世界大戦後に制定され、世界で初めて労働者の権利である「社会権」を明文化した憲法を持つ国はどこ？

答え合わせ・解説

問1	答え 日英同盟	この同盟は長らく日本外交の柱でしたが、ワシントン会議でアメリカが日本の力を抑えたいと考えたことや、イギリスがアメリカとの関係を重視したことで、四カ国条約の締結を機に1923年までに解消されることとなりました。
問2	答え 十四か条の平和原則	1918年、アメリカ合衆国のウィルソン大統領は、平和の維持には秘密外交の廃止や軍備縮小、国際的な協調が必要であると、14項目からなる平和の原則を発表しました。この中には、平和のための国際組織の設立や、民族自決の原則が示されています。
問3	答え 寺内正毅内閣	1918年に富山県で始まった米の安売りを求める運動は、全国的な暴動に発展しました。寺内正毅内閣はこの混乱を抑えることができず、最終的に責任をとって総辞職しました。
問4	答え ラジオ放送	1925年、東京・大阪・名古屋で試験的な放送が始まりました。これにより、ニュースや音楽、演芸などを遠く離れた場所から瞬時に家庭で聞くことが可能となり、国民の生活文化に大きな変化を与えました。
問5	答え 第一次護憲運動	桂太郎が強引に内閣を組織したことに対し、尾崎行雄や犬養毅らが中心となって「憲法擁護」を訴え、大規模な国民運動に発展しました。この圧力により桂内閣は短期間で総辞職に追い込まれました。
問6	答え 議会	国際連盟はアメリカのウィルソン大統領が提唱したのですが、加盟の承認権を持つアメリカ議会で強い反対に遭いました。結果として、アメリカは条約を批准できず、国際連盟に加盟しませんでした。
問7	答え 普通選挙	大正デモクラシーの風潮の中で、知識人や民衆は、より広い範囲の国民が政治に参加すべきだと主張しました。吉野作造らが理論を支え、護憲運動などの高まりの中で、ついに1925年に普通選挙法が成立しました。
問8	答え 円本	1920年代に流行した「円本」は、それまで高価で手の届かなかった文学全集などを1冊1円という価格で提供する仕組みです。大量生産・大量販売のモデルが定着し、中産階級の人々が安価に教養を得られるようになりました。
問9	答え 米騒動	富山県から始まった米の買い占めに反対する運動は、瞬く間に全国へ広がりました。米屋や政府の対応に対する国民の不満が爆発し、商店が襲撃される事件へと発展しました。この出来事の結果、当時の寺内正毅内閣は退陣を余儀なくされました。
問10	答え 生存権	生存権とは、国民が「健康で文化的な最低限度の生活」を送る権利のことです。大正時代から人々の権利意識が高まり、後に日本国憲法にも盛り込まれました。この権利は、生活を維持するための公的な支援や、労働条件の改善を求める根拠となりました。
問11	答え 平塚らいてう	平塚らいてうは、女性の感性を活かした表現の場として1911年に雑誌『青鞥』を創刊しました。当時の女性の地位向上を求める動きを象徴する「女性は太陽であった」という宣言は、女性が自らの意志で生きる権利を主張したものです。
問12	答え 立憲政友会	立憲政友会は、伊藤博文を創設者とする保守的な性格の政党であり、原敬らを輩出しました。大正末期から昭和初期にかけては、対抗馬である立憲民政党と交互に政権を担う「憲政の常道」と呼ばれる時期を築きました。各政党が選挙で競い合い、政権交代を行う仕組みが定着しかけていました。
問13	答え 米騒動	1918年、富山県の漁村から始まった主婦を中心とする「米を安く売れ」という運動は、瞬く間に全国へと広がりました。多くの人々が米屋や豪商を襲撃する暴動に発展し、軍隊が出動するほどの事態となりました。この混乱は、当時の寺内正毅内閣の退陣を決定づける要因となりました。
問14	答え ベルサイユ条約	1919年にフランスのベルサイユ宮殿で締結された条約です。ドイツに対し多額の賠償金と領土の割譲を命じたほか、軍備を大幅に制限しました。また、平和を守るための国際機関である「国際連盟」の設立もこの条約で決められました。
問15	答え 四カ国条約	この条約は、日本、アメリカ、イギリス、フランスの4カ国が、太平洋における互いの領土や権益を尊重し、紛争が起きた場合は協議を行うことを定めたものです。これにより日英同盟は正式に解消されました。
問16	答え 閥族打破・憲政擁護	第一次護憲運動の際、国民や政党はこのスローガンを掲げて一致団結しました。「閥族打破」は特定の藩閥による支配を終わらせることを、「憲政擁護」は憲法に基づいた正常な政治を行うことを意味しています。
問17	答え 平塚らいてう	平塚らいてうは、1911年に女性だけの手による文芸雑誌『青鞥』を創刊しました。創刊号の宣言文にある「元始、女性は太陽であった」という言葉は有名で、女性の目覚めと自立を力強く訴えました。当時の厳しい社会的制約の中で、女性が自身の力で生きる権利を主張し、日本における近代的な女性運動の先駆けとなりました。
問18	答え 五・一五事件	五・一五事件は、海軍の青年将校らが犬養毅首相を官邸で射殺した事件です。これにより「憲政の常道」といわれた政党内閣の時代は終止符が打たれました。
問19	答え 1917年	1917年に、まず皇帝を退位させる革命が起き、その後レーニン率いる社会主義勢力が権力を握る二段階の革命が進行しました。これにより世界で初めて社会主義政権が誕生し、ロシアの歴史が大きく変わりました。
問20	答え ドイツ	ドイツのワイマルで制定された憲法は、個人の自由だけでなく、労働者が人間らしく生きるための権利（社会権）を憲法で保障しました。これにより、国家が社会的な弱者を保護し、生存権を保障する考え方が示されました。